

公益財団法人 静 嘉 堂  
平成 24 年度 事業 計 画 書  
自 平成 24 年 4 月 1 日 至 平成 25 年 3 月 31 日

1. 開館日数

文 庫 280 日（うち閲覧日数 213 日）

美術館 280 日（うち展示日数 172 日）

2. 展覧会

“受け継がれる東洋の至宝 静嘉堂文庫創設 120 周年 美術館開館 20 周年記念”

<平成 24 年>

**Part I 東洋絵画の精華 — 名品でたどる美の軌跡—**

4 月 14 日（土）～6 月 24 日（日） 〈62 日開催〉

静嘉堂文庫美術館には、およそ 1,000 件におよぶ絵画コレクションが所蔵されています。本展ではその中から、初公開作品を含む選りすぐりの東洋絵画、約 70 件を【前期：珠玉の日本絵画コレクション】【後期：至高の中国絵画コレクション】にわけ、この春一挙公開いたします。

**Part II 岩崎彌之助のまなざし — 古典籍と明治の美術—**

9 月 22 日（土・祝）～11 月 25 日（日） 〈56 日開催〉

静嘉堂の創設者岩崎彌之助（1851～1908）は企業人として力を尽くす一方、多くの古典籍を収集し、同時代の芸術家を惜しみなく援助しました。そこには、当時の西洋文明偏重の世相の中で、東洋の文化を守り育てたいという強い願いがありました。本展では、貴重な和漢の古典籍をはじめ、バラエティ豊かな明治の美術品の数々を展示。彌之助の“文化への志”を幅広くご紹介します。

<平成 25 年>

**Part III 曜変・油滴天目 — 茶道具名品展—**

2013 年 1 月 22 日（土）～3 月 24 日（日） 〈54 日開催〉

宋風の喫茶文化とともに、わが国に渡来した黒釉茶碗（天目）のうち、「曜変」と「油滴」はことに珍重されました。本展では、世に 3 碗伝わる国宝の曜変天目のうち、もっとも星紋が鮮やかに現れた静嘉堂所蔵の一碗「稲葉天目」をはじめ、特徴ある形姿と見事な斑紋をもつ油滴天目など、館蔵茶道具の名品を出品いたします。歴史的に著名な名物茶入「付藻茄子」「松本（紹鷗）<sup>じょうおう</sup>茄子」などもあわせ、茶の湯の席に集う東洋の多様な美をご鑑賞下さい。